

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人

宮古地区いきいきワーキングセンター

1. 事業の成果

(1) 就労継続支援B型事業「ワークハウスアトリエSun」

- ・障がいのある人が地域の一員として活動し、職業生活における自立と社会参加の機会促進に寄与することを目的として「就労継続支援B型事業」を運営した。
- ・利用登録者数は22名（新規2名、退所者0名）、延利用者数は4,115名で前年度より78名増加した。1日当たりの利用者数は平均15.3名だった。
- ・給付費収入は30,253千円で、計画比では1,138千円の増加だったが、前年比では3,130千円の減少となった。

新型コロナウイルスワクチン接種日及び翌日に殆どの利用者が欠席したことで、7・8月に宮古地域で感染が拡大したことに伴う欠席の影響も大きかった。

- ・就労継続支援事業は、菓子・手芸・受託部門で利用者の工賃向上に向け事業を行い、利用者工賃は1人当たり月額平均16,368円で、前年度より3,470円増と大きく増加した。
増加の要因は、年4回開催されたバザーと部品加工の受注量の増加によるものが大きかった。
新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止はあったが、「鯨ヶ崎水曜市」での外部販売を2年ぶりに再開した。
- ・利用者交流会は、9月30日に利用者20名の参加で食事会を実施した。また、1月27日には岩手県社会福祉協議会就労部会の助成により利用者21名の参加で食事会を開催した。
今後も社会情勢に合わせながら利用者の工賃向上に向けた取組みを継続し、生活支援や就労訓練を行っていききたい。
- ・苦情件数は0件だった。

◇ 利用者数の推移（延人数）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4,238名	4,125名	4,012名	4,037名	4,115名

◇ 利用者工賃（1人当たり/月）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
9,339円	12,068円	13,670円	12,898円	16,368円

◇ 給付費収入の推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
35,465千円	35,156千円	32,903千円	33,383千円	30,253千円

(2) 日中一時支援事業 利用者はなかった。

(3) 放課後等デイサービス事業「ゆうやけ」

- ・児童福祉法に基づき「児童の最善の利益の保証」「共生社会の実現に向けた支援」「保護者支援」を目的に運営した。学校や家庭とは異なる時間・空間・人・体験等を通して、個々の児童の状況に応じた支援の提供を行った。
- ・児童に対しては、1人ひとりの放課後等デイサービス計画に沿って「生活動作の指導・訓練」「地域交流の機会の提供」「体験による知識の取得」「自立性・集団性の獲得」等の基本活動を複数組み合わせ合わせた支援の提供を行った。

- ・年間開所日数286日、利用登録者数は19名（新規5名）、延べ利用者数は2,882名、1日あたりの利用者数は10.1名だった。
- ・給付費収入は25,566千円で、計画比で3,111千円の増加、前年比でも1,833千円の増加だった。多くの児童が継続的利用となり、給付費加算額（個別対応加算Ⅰ）が増加した。
- ・地域交流及び保護者交流を目的とした活動を6月に計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、保護者交流を目的とした親子レク「まつりんぴっく」に変更し7月に開催した。在籍児童12名とご家族20名に参加して頂き、保護者交流の目的を果たすことができた。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、利用自粛の依頼を随時行ったが、今後も児童の安全を第一に考え運営を行っていききたい。
- ・事業運営の改善を目的に、自己評価（保護者評価・事業所評価）を実施した。評価内容については職員間で共有・討論し、是正改善に努めた。評価及び是正改善内容については、保護者への文書配布とホームページに掲載し公表している。
- ・苦情件数は0件だった。

◇ 利用者数の推移（延人数）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,525名	2,536名	2,701名	2,704名	2,882名

◇ 給付費収入の推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
25,412千円	22,324千円	23,817千円	23,733千円	25,566千円

◇ 実施した主な活動内容

実施月	主な活動内容
4月	・創作活動・室内遊び・環境整備（畑）・買い物学習・園外活動・食事のマナーに係る学習・お金の学習
5月	・創作活動・室内遊び・環境整備（畑、花壇）・園外活動・調理・食事のマナーに係る学習・避難訓練
6月	・創作活動・室内遊び・環境整備（花壇）・園外活動・佐原地区清掃活動・調理・避難訓練
7月	・創作活動・園外活動・調理・親子レク（まつりんぴっく）・手紙を書こう・食事のマナーに係る学習
8月	・創作活動・買い物学習・環境整備（花壇）・手洗い学習・プール・染物体験・お金の学習・避難訓練
9月	・創作活動・室内遊び・園外活動（野菜の収穫）・室内作業（栗剥き体験）・園外活動・避難訓練
10月	・創作活動・室内遊び・環境整備（落葉集め）・買い物学習・園外活動・ハロウィンパーティー・避難訓練
11月	・創作活動・室内遊び・調理・買い物学習・室内作業（干し柿づくり）・園外活動・防犯学習
12月	・創作活動・室内遊び・園外活動・クリスマス会・大掃除・お金の学習・避難訓練
1月	・創作活動・室内遊び・買い物学習・園外活動・町探検・水木団子づくり・お正月遊び
2月	・創作活動・室内遊び・避難訓練
3月	・創作活動・室内遊び・園外活動・佐原地区清掃活動・お金の学習・ライブ鑑賞・お別れ会・避難訓練

◇ 学校別利用登録者内訳（令和4年3月31日現在）

	小1	小2	小4	小6	中2	中3	高1	高2	高3	計
恵風	4		1		3	1	3	1	2	15
磯鷄小			1							1
山口小		1		1						2
山田中					1					1
計	4	1	2	1	4	1	3	1	2	19

(4) 宮古市学童の家運営事業

- 宮古市より「宮古養護学童の家」および「崎山学童の家」の業務指定を受け、放課後の有意義な活動をする場所の提供と、共働き家庭などの支援を目的として運営した。
今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し活動を行ったが、計画した行事は予定通りに実施できなかった。
- 「宮古養護学童の家」の利用者数は、前年度より390名増加し2,303名だった。
- 「崎山学童の家」の利用者数は、前年度より2,054名増加し過去最高の12,234名だった。
昨年度から引き続き、崎山小学校の空き教室を借用し2か所での活動となった。

◇ 利用者数の推移（延人数）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宮古養護	2,907名	2,524名	2,227名	2,067名	1,913名	2,303名
崎 山	5,889名	4,858名	6,686名	7,895名	10,180名	12,234名

◇ 利用登録者内訳（令和4年4月1日から）

宮古養護学童の家

小2	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
1名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名
計									
11名									

崎山学童の家

小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
15名	22名	13名	9名	5名	0名	64名

(5) リサイクル施設運転管理業務委託事業

宮古地区広域行政組合よりリサイクル施設運転管理業務を53,350千円で受託し、リサイクル関連3施設の管理・運営を行った。

本年度は、令和3年4月にパートタイム職員2名（うち障がい者雇用1名）を採用し分別業務の配置人員の見直しを行い、パートタイム職員11名と派遣労働者4名の体制で実施した。

また、正職員については今後の人員配置を見据えて令和4年1月に1名を採用した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：円)

定款の 事業名	事業内容	実施期間	実施場所	従業 者数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費
障がい者総合支援 法に基づく福祉 サービス事業	○ ワークハウスアトリエSun業務 障がい者就労継続支援B型事業	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	ワークハウスアトリエSun	6名	障がい者 開所269日 延4,115名	25,775,594
障がい者総合支援 法に基づく福祉 サービス事業	○ ワークハウスアトリエSun業務 日中一時支援事業	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	ワークハウスアトリエSun		障がい者 0名	0
児童福祉法 に基づく福祉 サービス事業	○ ゆうやけ 放課後等デイサービス事業	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	ゆうやけ	8名	障がい児 開所286日 延2,882名	24,027,290
公的施設の 管理運営事業	○ 宮古養護学童の家 指定管理者 宮古市学童の家運営業務	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	宮古養護 学童の家	6名	恵風支援学校 児童・生徒 開所289日 延2,303名	11,358,000
公的施設の 管理運営事業	○ 崎山学童の家 指定管理者 宮古市学童の家運営業務	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	崎 山 学童の家	6名	崎山小児童 開所286日 延12,234名	10,927,800
公的施設の 管理運営事業	○ リサイクル施設運転管理業務 宮古地区広域行政組合の 行う業務の受託	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	みやこ リサイクルセンター	17名	内障がい者 従業員 7名	48,405,829

3. その他

苦情受付体制として、「苦情解決事業実施要領」を制定し、各事業所には「苦情申出窓口」についての周知文書を掲示し「苦情相談受付箱」を設置した。

各事業所とも、苦情の申し出はなかった。

ワークハウスアトリエSunでは施設利用者を対象として、第三者委員による「なんでも相談会」を令和4年2月16日に実施し5人の相談を受付けた。

相談内容は関係機関への報告が不要の内容だった。